株式会社 エム・システム技研

取扱説明書

計装用プラグイン形変換器 ***M•UNIT*** シリーズ

高速電力変換器 MEWTF

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

概　要

主な機能と特長

●PT と CT からの信号を入力して有効電力を高速演算 ●電力の潮流系統でも使用可 ●出力信号はコンピュータ入力に適した低リップル直流信号 ●耐電圧AC 2000 V ●密着取付可能

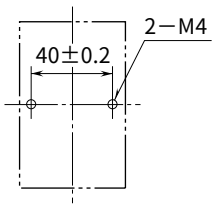
アプリケーション例

●系統電力監視時における急激な変動に対する迅速異常処理

設　置

設置には次のような場所をお選び下さい。
●屋内で、周囲温度が -5 ～ +60℃の場所
●湿度が 30 ～ 90 %RH で、結露しない場所
●雨や水のかからない場所
●腐食性ガス、粉塵や振動のない場所
取付は、壁取付または DIN レール取付が行えます。
壁取付は下図の要領で行って下さい。

取付寸法図（単位：mm）



・密着取付可能

接　続

各端子の接続は次ページの要領で行って下さい。

調　整

弊社では入力に対して基準精度内に調整して出荷しております。校正するときは次の要領で行って下さい。
①模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ZERO で出力を 0 % に合わせます。
②模擬入力信号を 100 % 相当値に設定し、SPAN で出力を 100 % に合わせます。
③再び、模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ゼロ出力を確認して下さい。
④ゼロ出力がずれているときは、①～③の操作を繰返して下さい。

点　検

①端子接続図に従って結線がされていますか。
②供給電源の電圧は正常ですか。
③入力信号は正常ですか。
測定レンジを下式で算出し、製作可能電力レンジの範囲内であることを確認して下さい。

$$\text{電力変換器入力〔W〕} = \frac{\text{負荷の定格電力〔W〕}}{(\text{PT 比}) \times (\text{CT 比})}$$

④出力信号は正常ですか。
負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

雷対策

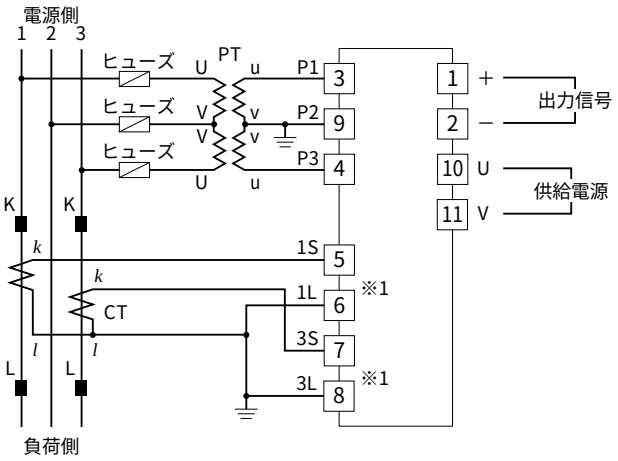
雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器＜エム・レスタシリーズ＞をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。

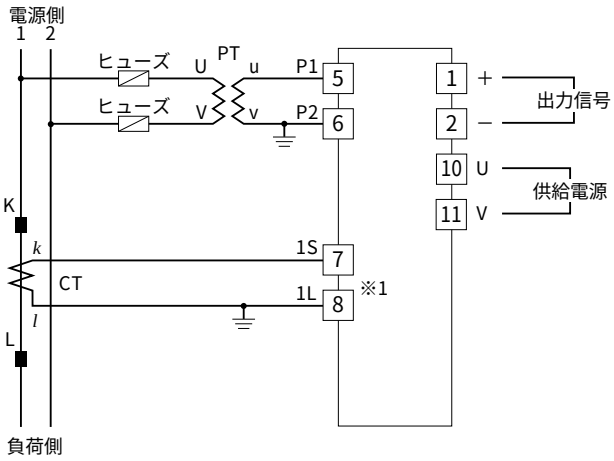
端子接続図

三相3線式



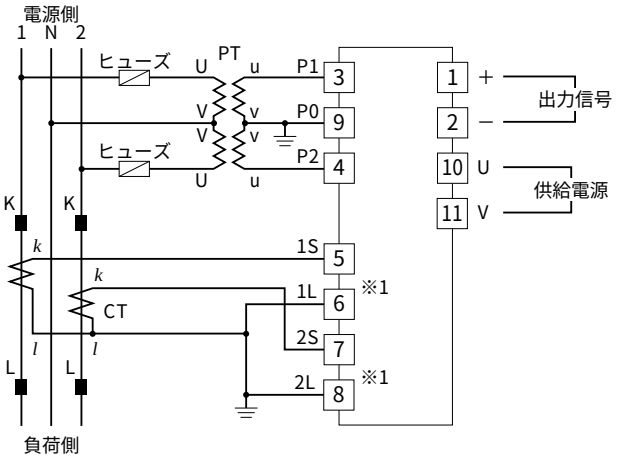
※1、CTプロテクタ(CTM)が付きます。

単相2線式



※1、CTプロテクタ(CTM)が付きます。

単相3線式



※1、CTプロテクタ(CTM)が付きます。

■電源供給の方法

MEWTF を動作させるためには電源端子に仕様を満足する供給電源を接続する必要がありますが、電圧入力信号の電圧変動と容量が供給電源仕様を満足する場合には、下表の要領で端子を接続すれば電圧入力信号から電源を供給することができます。

(注) このとき PT の負荷が約 2.5 VA になります。
(MEWTF の電源電流のほか、入力信号回路での消費電流を含む)

結線表

MEWTF ー1	③ー⑩
3	⑨ー⑪
2	⑤ー⑩
	⑥ー⑪